

東京 板橋区 男子校 城北中学校

Johoku Junior High School

教育目標を具現化し 社会に有意な人間を育成

発達段階に合わせた 理想の「3期指導体制」

城北では、6年間を「基礎期」「鍊成期」「習熟期」と2年ずつ3期に分け、生徒の発達・変化に応じた指導を行っています。

中1・中2の「基礎期」は、基本的な生活習慣、各教科の基礎を身につけます。小テストや個別指導、補習を行つことで、確実に基礎力を養います。原則的に中学校の学習内容はこの基礎期で修了します。

中3・高1の「鍊成期」は自立的・自主的な学習生活の確立を目指します。中2までの先取り教育によつて、中3以降は時間に余裕が生まれるため、高校の内容を丁寧に学んでいくことができます。また、鍊成期は自分が合った進路を見つけていく期間でもあります。

その精神は現在も受け継がれています。

城北の考える人間形成とは、「社会に有為な人間を育成する」ということです。社会を支え導くリーダーを育てるために、クラブ活動や行事も大切に考え、コミュニケーション能力や統率力等の力を育んでいます。

は毎年難関大に多くの合格者を輩出しています。

また、オーストラリア語学研修等の国際教育にも力を入れており、近年では、海外大学へ進学する生徒もあります。

ICTに特化した 新たな教室が完成

ICT教育が積極的に展開されているのも特徴のひとつです。全ての教室に大型モニターが設置され、生徒用のiPadが160台導入されています。

さらに、2017年（平成29年）4月には、ICTに特化した特別教室「i-Room」が完成しました。「i-Room」の「i」には、「ICT（情報通信技術）・IDEA（アイデア）・

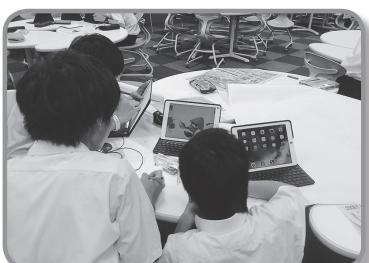
INTEREST（興味関心）・INTERACTIVE（双方向の）・INQUIRE（探求する）」とこれら5つの意味があります。

「i-Room」には、iPad 40台、プロジェクター2台、そして大型モニター1台が備えられています。

さらに、台からはずして移動が可能なミニホワイトボード、ふたつ合わせると4人、3つだと6人で使いやすい勾玉型（まがたま）のテーブル、前のめりになれる特別なイスなど、グループワークに最適な設備も整えられています。

これらの設備を活用して生徒の思考力を刺激するとともに、自ら発信できる能力を育んでいます。

城北中学校・高等学校は、教育目標を具現化し、社会に有意な人間を育てる教育を行っています。



School Data

城北中学校

東京都板橋区東新町2-28-1

東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分

男子のみ856名

03-3956-3157

<https://www.johoku.ac.jp/>